



岡山大学 ナノバイオ標的医療の 融合的創出拠点の形成

ICONT (Innovation Center Okayama for Nanobio-targeted Therapy)

岡
大
発

医学・医療の最前線

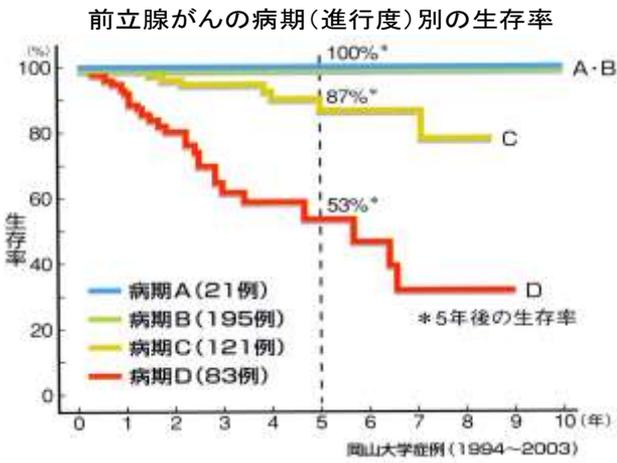
35

前立腺がん治療の課題

岡山大ナノバイオ標的医療
イノベーションセンター長
泌尿器病態学分野教授
公文 裕巳



この連載は、岡山大学の「ナノバイオ標的医療」に関する研究の展開を中心に新しい医療の創造について解説しています。ここ数回は、私の専門領域である泌尿器科医療の最近の話題、特に、前立腺がんの診断と治療についてお話ししています。



岡山大学症例(1994-2003)

- 病期A: 前立腺肥大症の手術などで偶然発見される段階
- 病期B: がんが前立腺被膜内にとどまっている段階
- 病期C: がんが前立腺被膜外に広がった段階
- 病期D: がんがリンパ節や骨などに転移した段階

この連載は、岡山大学の「ナノバイオ標的医療」に関する研究の展開を中心に新しい医療の創造について解説しています。ここ数回は、私の専門領域である泌尿器科医療の最近の話題、特に、前立腺がんの診断と治療についてお話ししています。

この連載は、岡山大学の「ナノバイオ標的医療」に関する研究の展開を中心に新しい医療の創造について解説しています。ここ数回は、私の専門領域である泌尿器科医療の最近の話題、特に、前立腺がんの診断と治療についてお話ししています。

この連載は、岡山大学の「ナノバイオ標的医療」に関する研究の展開を中心に新しい医療の創造について解説しています。ここ数回は、私の専門領域である泌尿器科医療の最近の話題、特に、前立腺がんの診断と治療についてお話ししています。

この連載は、岡山大学の「ナノバイオ標的医療」に関する研究の展開を中心に新しい医療の創造について解説しています。ここ数回は、私の専門領域である泌尿器科医療の最近の話題、特に、前立腺がんの診断と治療についてお話ししています。